

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-55	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅢ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2東書	CⅢ 701	All Aboard! English Communication Ⅲ		

1. 編修の基本方針

国際社会を生き抜く日本人を育成するために、以下のことに留意しています。

- ①生徒の学習意欲を喚起し、「読みたい」「考えたい」と思う題材を取り上げること
- ②コミュニケーションを図る資質・能力を育成するために、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能（5領域）の活動をバランスよく取り上げ、統合的に扱えるようにすること
- ③文法・読解にかたよらず、日常的・実践的なコミュニケーションの指導ができるように、無理のない手順や配列を工夫すること

基本方針

1

実社会で活用できる英語力の育成

- ・人間、社会、世界について考えることができる幅広い題材を通して、実社会で活用できる英語力を育成します。
- ・本文の学習内容を生かし、モデルを参照しながら、レポートをする、プレゼンテーションやミニディベートをするなど、レッスン冒頭に設定した学習目標の到達に向けて取り組みやすくなっています。
- ・ほとんどのLessonにおいて本文は見開きで完結します。また、学習の流れが一目で理解できるレイアウトを工夫しており、前時の復習がしやすくなっています。
- ・コミュニケーション活動では細かいステップを設定することにより、学習目標に到達しやすい配慮をしています。

基本方針

2

学習意欲を喚起し、深い学びにつながる題材

- ・生徒が「読みたい」「考えたい」と思うような題材を用意しています。
- ・本文の各ページに内容理解の活動を2種類配置して手厚くし、自分の考えを述べるLet's Think!を新設しました。
- ・各Lessonに「Activity」を配置し、本文のテーマについてのコミュニケーション活動ができるようにしており、4技能（5領域）の統合を図ることができます。

指導の流れが見えやすいLesson構成

- ・ 教師と生徒が学習目標を共有するために、Lessonのテーマについてのコミュニケーション活動に関連した学習目標を扉ページにLesson Goalとして提示しています。
- ・ Lessonの本文に続くページを、「本文の復習（Review）」「コミュニケーション活動（Activity）」の2つのコーナーに分け、多様な指導スタイルに対応できる構成にしています。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所の例
Lesson / Reading	<ul style="list-style-type: none"> ①各Lessonで取り上げた題材を通して、異文化の発想や考え方を知り、幅広い知識と教養を身に付けます。（第1号） ②Readingでは生徒の心情に訴えるような題材を取り上げ、豊かな情操と道徳心を培うように配慮しています。（第1号） ③本文ページのLet's Think!や各Lesson課末のPair WritingやActivityで自分の意見を述べる活動を豊富に設け、個人の価値を尊重し、豊かな自己表現の力を伸ばせるように配慮しています。（第2号） ④被服の役割や自己表現としてのファッションについて考え、個人の価値を尊重する自立の精神を養います。（第2号） ⑤未来食として注目される昆虫食について読み、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。（第3号） ⑥様々な差別が存在していた時代にあっても正義を貫き自分を信じて突き進んだ人物について知り、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。（第3号） ⑦独特な自然の美しさと多数の固有種を誇るマダガスカルについて知り、自然を大切にすることを養います。（第4号） ⑧環境に影響を及ぼすエネルギーの供給についての現状や雷について知り、環境の保全を自分ごととして考える態度を養います。（第4号） ⑨日本に固有の動物が文化として根付いている様子を知り、我が国と郷土を愛する態度を養います。（第5号） ⑩戦中・戦後の広島を取り上げ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。（第5号） 	<ul style="list-style-type: none"> ①Lesson 1, Lesson 6 など ②Reading 1, Reading 2 など ③本文ページのLet's Think!, 各Lesson課末のPair Writing, Activity など ④Lesson 3 ⑤Lesson 4 ⑥Lesson 10 ⑦Lesson 5 ⑧Lesson 7, Lesson 9 ⑨Lesson 2 ⑩Lesson 8
コラム類	<ul style="list-style-type: none"> ①Extra Target 1, 2では文構造や英語特有の言葉の使い方の学習を通して、日本語とは異なる特色に気づき、理解しようとする態度を養います。（第1号） 	<ul style="list-style-type: none"> ①p.94, p.95 など

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

観点	留意点	具体例
①教育基本法の遵守	<p>①この教科書では、国際社会を生き抜く日本人を育成するために、英語力の基礎を確実に身につけ、その英語力で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養おうとすることを目指しています。</p> <p>②世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、伝統や文化に関する題材を取り上げています。</p>	<p>①全体</p> <p>②Lesson 2, 8 など</p>
②学習指導要領の遵守	<p>①Lessonの学習が進むに従って、生徒の積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されていくように、題材や学習内容が選択・配列されています。</p> <p>②生徒が自分の言葉として英語を使うコミュニケーション活動を豊富に用意することで、情報や考えなどを理解したり適切に伝えたりする基礎的な力を養います。</p>	<p>①全 Lesson</p> <p>②全 Lesson</p>
③内容・配列・分量	<p>①言語材料や題材内容など各面にわたってゆるやかに難易度を上げているため、無理なく英語力を養成できます。</p> <p>②各Lessonは、写真資料などからの導入、理解、復習、コミュニケーション活動の順に構成されており、効率的に学習できるように配慮されています。</p> <p>③取り上げる文構造・文法事項は「1 Lesson 1 ターゲット」とポイントが絞られており、基礎的・基本的な事項が確実におさえられます。</p>	<p>①全 Lesson</p> <p>②全 Lesson</p> <p>③全 Lesson</p>
④評価 (CAN-DO)	<p>①各Lessonの第1ページのLesson Goal (題材のテーマに関連した学習目標)を受けて、Activityでは言語活動を通して、そのLessonにおける目標の到達度を確認することができます。</p>	<p>①全 Lesson</p>
⑤英語で授業を行うための配慮	<p>①Lessonの導入として英語を聞いてからその内容について英問英答を行う Quick Question!, 本文の内容把握を英問英答で行う Questions, 自分の意見を言う Let's Think!, 本文全体の要約を完成させて音読する Summary など、生徒が英語でアウトプットする活動を充実させています。</p> <p>②本文の概要把握を英語のリスニングで行う True or False?, イラストと英語の音声のみで本文の復習を行う Listening など、英語の音声を聞いて内容把握やペアワークを行う活動を充実させています。</p>	<p>①全 Lesson</p> <p>②全 Lesson</p>

⑥英語コミュニケーションⅠ，Ⅱとの関連	①英語コミュニケーションⅠ，Ⅱで扱った文法事項を Lesson の Target として取り上げ，再度学習する機会を設けています。	①全 Lesson
⑦伝統・文化の取り上げ方	①日本の伝統・文化に関する話題を取り上げ，我が国の伝統・文化への意識を高め世界に発信できるようにしています。	①Lesson 2, 8 など
⑧自然科学の取り上げ方	①英語科にふさわしい意味のある切り口で取り上げられるよう，特殊な語彙や表現による負担に配慮して，題材選定をしています。	① Lesson 9 など
⑨家庭学習・自学自習への配慮	①随所に Tool Box を，巻末には Tool Box Plus を設け，辞書を引かずに自学自習ができるように，語彙をまとめて掲載しています。 ②二次元コードを使って，家庭でも本文や単語の音声を聞くことができます。	①Tool Box, Tool Box Plus ②二次元コード
⑩文字・印刷・製本	①活字は鮮明で美しく，写真，イラストなども鮮明です。 ②製本は堅牢で，開きやすい様式です。 ③ユニバーサルデザインの視点から図やグラフの色使いなど，色覚特性への配慮をしています。	①全体 ②全体 ③全体

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-55	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅢ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	CⅢ 701	All Aboard! English Communication Ⅲ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- 生徒の学習意欲を喚起し、「読みたい」「考えたい」と思う題材を取り上げる
- コミュニケーションを図る資質・能力を育成するために、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能（5領域）の活動をバランスよく取り上げ、統合的に扱えるようにする

1 実社会で活用できる英語力の育成

- ・人間，社会，世界について考えることができる幅広い題材を通して，実社会で活用できる英語力を育成します。
- ・本文の学習内容を生かしてレポートやプレゼンテーション，ミニディベートをするなど，レッスン冒頭に設定した学習目標の到達に向けて取り組みやすくなっています。
- ・ほとんどのLessonにおいて本文は見開きで完結します。また，学習の流れが一目で理解できるレイアウトを工夫しており，前時の復習がしやすくなっています。

2 学習意欲を喚起し，深い学びにつながる題材

- ・生徒が「読みたい」「考えたい」と思うような題材を用意しています。
- ・本文の各ページに内容理解の活動を2種類配置して手厚くし，自分の考えを述べるLet's Think!を新設しました。
- ・各Lessonに「Activity」を配置し，本文のテーマについてのコミュニケーション活動ができるようにしており，4技能（5領域）の統合を図ることができます。

3 指導の流れが見えやすいLesson構成

- ・教師と生徒が学習目標を共有するために，Lessonのテーマについてのコミュニケーション活動に関連した学習目標を扉ページにLesson Goalとして提示しています。
- ・Lessonの本文に続くページを，「本文の復習（Review）」「コミュニケーション活動（Activity）」の2つのコーナーに分け，多様な指導スタイルに対応できる構成にしています。

題材一覧

Lesson	タイトル	ジャンル	言語材料	語数
Lesson 1	Gifts to Barcelona	人物, 芸術	to 不定詞/動名詞	185
	アントニオ・ガウディが建築物で体現しようとしたコンセプトとその作品について読み, 世界中から注目を集めるその魅力に迫ります。			
Lesson 2	Akkamui	動物, 文化	現在完了形	198
	北海道に生息するエゾモモンガの生態について, 観察ツアーに参加して説明を受けます。			
Lesson 3	Your True Colors	ジェンダー, 社会	使役動詞	175
	なぜ私たちは衣服を身に付けるのか, 文化的背景とジェンダーの側面から考えます。			
Lesson 4	Our Future Food?	食, 未来	受け身	364
	近い将来訪れる食料不足への備えや宇宙食として注目される昆虫食についての対話文を読みます。			
Lesson 5	Madagascar	環境, 異文化	関係代名詞	321
	幻想的なバオバブの木や固有種の多さで知られるマダガスカルの魅力と, 現地で起きている環境問題について読みます。			
Lesson 6	The Mystery of the Terracotta Warriors	歴史, 考古学	関係代名詞 <, who><, which>	380
	いまだ多くの謎に包まれている兵馬俑を紹介し, 歴史探求の面白さを伝えます。			
Lesson 7	Green Challenges	環境, エネルギー	比較表現	377
	日本と世界の国々が使用するエネルギー源を比較し, これからのエネルギー問題についてプレゼン形式の文章を読んで考えます。			
Lesson 8	Witnesses of War	戦争, 平和	名詞を後ろから説明する分詞	378
	路面電車を運転していた女子学生と, 戦後の復興のエピソードを通して, 戦争の恐ろしさ, 平和の大切さについて考えます。			
Lesson 9	The Wonders of Lightning	自然科学, 環境	仮定法過去	525
	雷が発生する仕組みや避難方法, ふだん見ることができない雲の上に発生する雷について, プレゼン形式の文章で科学的な話題を読みます。			
Lesson 10	Katherine's Long Journey	人物, 人権, 宇宙	関係代名詞 whose	518
	「コンピュータ」としての役割しか与えられなかった時代に黒人・女性差別を打ち破り, アポロの月面着陸プロジェクトに貢献したキャサリン・ジョンソンさんの活躍について読みます。			

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				3 内容の 取扱い	該当箇所	配 当 時 数
	2 内容						
	(1) 英語 の特徴や きまり	(2) 情報 を整理し ながら考 えなどを 形成し、 英語で表 現したり 伝え合っ たりする こと	(3) 言語活動及び言語 の働き				
①			②				
Lesson 1	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ	イ(ア)・ ウ(ア)・ エ(ア)・ オ(ア)・ カ(ア)	ア(イ) (ウ), イ(ア)(イ) (ウ)(エ) (オ)	○	pp.4-11	6
Lesson 2				ア(ア) (ウ), イ(ア)(イ) (ウ)(オ)		pp.12-19	6
Lesson 3				ア(ア) (イ), イ(ア)(イ) (ウ)(オ)		pp.20-27	6
Lesson 4			イ(イ)・ ウ(イ)・ エ(イ)・ オ(イ)・ カ(イ)	ア(ア), イ(ア)(イ) (ウ)(エ) (オ)		pp.28-37	8
Lesson 5				ア(ア) (イ), イ(ア)(イ) (ウ)(エ) (オ)		pp.38-47	8
Reading 1	ア・イ・ ウ	ア	ウ(ア)・ オ(ア)・ カ(ア)	ア(ア) (イ), イ(ア)(イ) (ウ)(エ) (オ)		pp.48-53	8

Lesson 6	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ	イ(イ)・ ウ(イ)・ エ(イ)・ オ(イ)・ カ(イ)	ア(イ), イ(ア)(イ) (ウ)(エ) (オ)	○	pp.54-63	8
Lesson 7				ア(ア) (イ), イ(ア)(イ) (ウ)(エ) (オ)		pp.64-73	8
Lesson 8				ア(イ), イ(ア)(イ) (ウ)(エ) (オ)		pp.74-83	9
Lesson 9				ア(ア) (イ), イ(ア)(イ) (ウ)(エ) (オ)		pp.84-93	9
Lesson 10				ア(イ), イ(ア)(イ) (ウ)(エ) (オ)		pp.96-105	9
Reading 2	ア・イ・ ウ	ア	ウ(ア)・ オ(ア)・ カ(ア)	ア(ア)(イ)		pp.106-111	8
Extra Target 1	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ ウ	ウ(ア)・ エ(ア)・ オ(ア)・ カ(ア)	ア(ア) イ(ウ)		p.94	1
Extra Target 2				ア(イ)		p.95	1
合計 95 時間							